

熱田小児科クリニック 掲示板

7月のテーマ 『りんご病について』

(医)熱田小児科クリニック「ひまわり」スタッフ

りんご病とは…ほっぺがりんごのように赤くなるので、りんご病と呼ばれています。太ももや腕には赤い斑点やまだら模様がでたり、頬がほてったり少しかゆくなることもあります。

原因は…ヒトパルボウイルスに B19 というウイルス感染によって起こります。幼児期から学童に多く、春から初夏にかけて流行することが多いです。感染経路は飛沫感染が主で、潜伏期間は 6～11 日、発疹出現までは 16～18 日です。

治療は…自然に治まりますが、かゆみが強いときは抗ヒスタミン薬を処方することがあります。

感染症対策

でんせんせいこうはん

伝染性紅斑

両頬に赤い発しん（紅斑）が出ることから「りんご病」とも呼ばれる小児に多い感染症です。



10～20日の潜伏期間の後
微熱・かぜに似た症状
この時期にウイルスの排出が最も多くなります。

こんな症状がみられます

ほっぺたが **リンゴのように赤くなります（紅斑）**

発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。発しんは1週間程度で消失しますが、中には長引いたり、一度消えた発しんが短期間のうちに再び出現したりすることがあります。

予防と対策

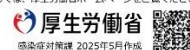
手洗い、マスク着用など
基本的な感染症対策を心がけましょう！

妊娠中又は妊娠の可能性がある方へ

これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発しんが出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。また、感染しても症状がないこと（不顕性感染）もあるため、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は、妊婦健診の際に、医師に伝えてください。

伝染性紅斑の主な感染経路は、「飛まつ感染」と「接触感染」です。こどもを感染から守るため、周囲の人へ基本的な感染症対策を心がけましょう。

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください



感染症対策課 2025年5月作成